

科目名	4501 問題解決の思考法 ①【S1】				単位	1単位
担当教員	神田 直弥	実務経験		科目ナンバー	開講時期	春学期
授業概要	伝統的な問題解決方法と、近年、利用されることが多くなってきた新しい問題解決の手法であるデザイン思考の方法を実践を通して学ぶ。初回の授業で5名程度のグループを作成し、そのグループで演習を行うスタイルを進める。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークの方法を理解し、実践できる</li> <li>・問題解決の方法を理解し、実践できる</li> <li>・デザイン思考の方法を理解し、実践できる</li> </ul>					
スキルの育成方法	毎回、グループワークを実施することで、対話をする上で必要な力、チームで活動する上で必要となる力、問題解決を行う上で必要となる力を育む。					

## ○育成するスキル

読解力		文章表現力		傾聴力	○	発信力	○	会話力		批判的思考力	○
外国語活用能力		自文化理解力		多文化理解力		世界の動きへの関心		日本の動きへの関心			
情報収集力	○	論理的思考力	○	柔軟性	○	課題発見力	○	問題解決力	○		
決断力		主体性	○	感情制御力	○	セルフマネージメント		協働力	○	マネジメント力	○

## ○地域に関する学習

地域の背景学習(庄内)		地域課題の認識(庄内)		地域課題の解決(庄内)	
地域の背景学習(他地域)		地域課題の認識(他地域)		地域課題の解決(他地域)	
学びの基本学習	○				

[教職] 中学		高校(公民)		高校(地歴)		社福士		社福任用		[演習科目]		
[AL] 課題学習	○	PBL		グループW	○	フィールドW		プレゼン	○	ディベート		振り返り

## 授業計画

回	授業内容	事前・事後学修内容・所要時間
第1回	アイスブレイク、グループワークの方法、対話の方法(1)アサーション	【事後】日頃の自己主張のスタイルの見直しと改善 (1時間)
第2回	対話の方法(2)三角ロジック、問題解決の方法(1)問題定義、原因の洗い出し	【事後】仮説検証の実施 (2時間)
第3回	問題解決の方法(2)仮説検証、対策の検討、発表資料の作成	【事後】発表資料の作成 (1時間)
第4回	問題解決の方法(3)成果発表、デザイン思考(1)インタビューの準備	【事後】インタビュー内容の検討 (1時間)
第5回	デザイン思考(2)インタビューの実施、インタビュー結果のまとめ	【事後】インタビュー結果のまとめ (1時間)
第6回	デザイン思考(3)潜在ニーズの検討と問題定義、プロトタイプの作成	【事後】プロトタイプの作成 (1時間)
第7回	デザイン思考(4)プロトタイプの完成と成果発表	【事後】レポート作成 (6時間)
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		

成績評価基準	毎回の授業の振り返り (20%)、成果発表 (15%×2回)、最終レポート (50%)		
前提科目	基礎演習a	後継科目	SGDs導入科目、プロジェクト型応用演習
教科書	「知の編集力ハンドブック」を毎回使用するので持参する。		

参考書	適宜紹介する。												
その他・注意事項	初回の講義でグループ編成を行うので欠席しないようにすること。同一内容の授業をS1とS2で2クラスずつ、計4クラス開講とする。履修者の偏りを防ぐため、学籍番号に応じて履修をするクラスを指定する。履修希望者は掲示板を確認の上、指定のクラスを履修すること。また、授業中にスマートフォンを用いて意見を聞く機会を設けるため、スマートフォンを持参すること。レポートは採点の上、フィードバックします。												
1.貧困		2.飢餓		3.健康と福祉		4.質の高い教育		5.ジェンダー平等		6.水とトイレ			
7.エネルギー		8.働きがい		9.産業と技術革新		10.不平等		11.まちづくり		12.責任			
13.気候変動		14.海の豊かさ		15.陸の豊かさ		16.平和と公正		17.パートナーシップ					
文理横断													